

# 志中の風

『自主』『友愛』『奉仕』

令和3年1月25日発行

## 雪に耐えて梅花麗(うるわ)しく 霜を経て楓葉(ふうよう)丹(あか)し

校長 長元 武彦

西郷隆盛が、1872年(明治5年)に自身の甥である市来政直いちきまさなおがアメリカ留学をする際に贈った漢詩の一節です。この『雪に耐えて梅花麗しく 霜を経て楓葉丹し』の一節の後に『如(も)し能(よ)く、天意を識(し)らば、豈(あに)敢(あ)えて、自(みづか)ら安(やす)きを謀(はか)らむや』が続きます。

この漢詩の意味は、『梅の花は冬の厳しい雪や寒かえさに耐えた後に、春になって美しい花を咲かせ、芳しい香りを発するものです。楓の葉は深い霜をしのぐからこそ真っ赤に染まるのです。』という意味です。これを人生に例えれば、「人間も苦難や試練を耐えて乗り越えるからこそ、大きく成長することができるのです」と解釈することができます。隆盛が、甥の政直が旅立つ前に「困難に負けるな」と励ました言葉が、『雪に耐えて梅花麗しく～』なのです。



梅の花

進路決定を目前に控えた3年生にとって、高校入試などの入学試験は試練の場のひとつかも知れません。しかし、長い人生において、今の中学生の青春前期に「頑張る体験」をすること、「試練の場を経験」することは必須であると思っています。本県の高校入試は、大学入試が新しくなることを踏まえ、数年前から出題方針や内容が変更されてきており、より、考えさせる問題が増えてきています。大学入試については、今年1月から、「大学入試センター試験」が廃止され、「大学入学共通テスト」が始まっています。国は「先行きが予想しづらいこれからの社会では、知識の量だけでなく、自ら問題を発見し、答えや新しい価値を生み出す力が重要になる」という考えから、思考力や判断力、表現力をより重視した新しいテストに転換したためです。

本校では、数年前から思考力や判断力、表現力を高めるための指導法を研究、推進しています。それと共に1、2年生を含め生徒たちには、家庭学習時間の確保とともに、受け身の勉強ではなく、自ら進んで取り組む姿勢を大切にした家庭における学習の質の充実も図ってください。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染状況は極めて厳しいものがあります。しかしながら、『春の来ない冬はない』『朝の来ない夜はない』とも言われます。このような状況下で我慢することを教えましょう。耐え忍ばせながらも、この状況だからこそ、生徒たちが自ら考え判断し、行動できるようにすることを目指し、学校と家庭相互でやれることを見つけ出しましょう。『春』や『朝』、すなわち新しい時代が、すぐそこまで来ていることを信じて、不断の努力を続けて参りましょう。

### 避難訓練～火災発生を想定した訓練～

1月14日(木)に本校A棟1階から出火したとの想定で、避難訓練を実施しました。

当日は、消防署の方々が他の緊急出動と重なったため、生徒と学校職員のための避難訓練となりました。そのような状況にもかかわらず、本校生徒は全員が真剣に取り組み、火災発生後の放送による避難指示から、4分26秒後には全員が校庭南側の所定の場所まで避難を完了させることができました。先月23日には、校区内で大きな火災が発生しています。

油断しないためにも、このような訓練を大切に、不測の事態にも備えて参ります。



### 新ALT「Oliverさん」着任

市教育委員会学校教育課に、前任のALT(英語指導助手)で本校担当のグレイさんの後任として、オリバーさんが着任されました。本市には、他ALTも配属されることになっていますが、新型コロナウイルス感染症対策等で外国から日本へ移動することが困難であり、現在のところオリバーさん以外は着任できていない状況です。

以下はオリバーさんの簡単な紹介です。

氏名: Baell Oliver Tasman

年齢: 27歳

出身地: オーストラリア メルボルン

特技: ス페인語堪能

趣味: ランニング, 日本語学習, お茶

※ 生徒たちには1月15日(金)に校内放送で紹介しました。



## 学校運営協議会委員による面接指導

3年生は、1月24日(日)から本県私立高校受験が始まります。それから3月9・10日に行われる本県公立高校受験までの期間に行われる試験では、ほとんどの学校で「面接」が行われる予定です。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症予防策のため実施校は減るかも知れません。

そのような状況ではありますが、本校では、昨年度に引き続き、3年生を対象として1月20日(水)に学校運営協議会委員の方々を面接官とする「面接練習」を実施しました。

生徒たちは、今まで3学年の先生方による面接練習を体験してきました。さらに、より本番に近い雰囲気の中で実践的な「面接練習」ができました。



## 「4」の付く日は「志新会」あいさつ運動

4日、14日、24日の「4」が付く日は、本校PTAのOBで組織されている「志新会」の方々により、本校正門付近であいさつ運動を展開していただいています。

1月18日(月)には、本市の保護司会の方々によるあいさつ運動も実施していただきました。さらには、生徒会生活部に加え、PTA生活部によるあいさつ運動で、明るい笑顔と爽やかな声で相互のあいさつができていることに感謝申し上げます。



## 福丸先生文部科学大臣優秀教員表彰に輝く！

本校で3年生理科を担当し、現在教務主任を務めている福丸善大教諭が、1月12日(火)に「文部科学大臣優秀教員表彰」を受賞しました。福丸教諭のこれまでの取組の一部は、大隅教育事務所のホームページでも紹介されています。校長としては、地道に教育活動に取り組んできた本校職員を代表し、福丸教諭が受賞されたものであると考えています。

表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防対策としてオンラインで実施されました。今後も、本校全職員一丸となって研究や実践を重ねて参る所存です。



## 【2月の主な行事予定】

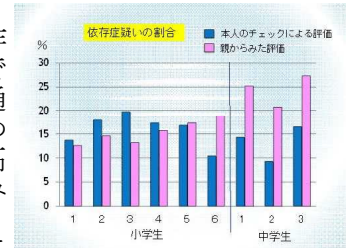
※ 現時点での予定です。諸状況により変更があり得ますので、あらかじめご了承ください。

- 1日…志講話(全学年対象)
- 8～10日…学年末テスト
- 11日…建国記念の日(祝日)

## 情報通信機器SNSの使い方について

最近では、次々に新しいソーシャルメディア(SNS)が登場しており、保護者がすべてを理解把握し指導することは難しい状況にあります。ですから、子どもたちが扱っているSNSについては、常にオープンにさせ、保護者も閲覧できるようにしておくことも必要です。また、スマホ・タブレット・ゲーム等の情報通信機器等を子どもたちに使用させるにあたり、各家庭で親子で話し合いルールを設定することなどについて依頼していましたが、

各家庭でのルール作りはすすみましたでしょうか？右図の通り、学年が進むにつれ依存症の疑いが高まっている状況もみられます。



さて、本校生徒によるSNSへの不適切な投稿を原因とした、問題になりかねない案件が実際に発生しています。もし、炎上したり問題化するなどしたら、デジタルタトゥ化して、人生を狂わせてしまうかも知れません(デジタルタトゥとは、一旦インターネット上で公開された個人情報などが一度拡散すると、完全に削除するのが不可能であることを、「入れ墨：タトゥーを完全に消すことが不可能」であることに例えた比喻表現です)。

子どもたちは他の活動においては失敗しながら学んでいくものですが、SNSをはじめ情報通信機器による失敗は取りかえしがつきません。各家庭で、適時ご指導くださるようお願いいたします。

## しつけと体罰(体罰によらないしつけを！)

～『志アップ 子育て手帳』から～  
体罰によらないしつけを行うためには「3つのキーワード」があると考えます。

- ① 段階を踏む  
「ちゃんとしなさい」などと曖昧な指示をされた子どもたちは、何からやればいいのか理解できないかも知れません。個々の子どもに応じて「まずこれね」「次はこれね」と段階を踏んで指示をしてみてください。
- ② 選ばせる  
一から決めることができなくても、選択肢を与えて選ばせれば自分で決めたのと同じですから、意欲を持って取り組みます。複数の案や方法を示して選ばせる方法もあります。
- ③ 共に行動する  
子どもがうまくできないようなら、一緒に考えたり、一緒にやったりすればよいのです。もちろん、できる範囲で構いません。

13日…土曜授業

15日…PTA役員会・理事会

18日…1・2年授業参観、学年PTA

23日…天皇誕生日(祝日)

26日…家庭教育学級閉講式

27日…おやじの会(美化活動(草払い)、閉講式)